

1

解答解説のページへ

以下の問いに答えよ。

- (1) xy 平面において, $O(0, 0)$, $A\left(\frac{1}{\sqrt{2}}, \frac{1}{\sqrt{2}}\right)$ とする。このとき,

$$(\overrightarrow{OP} \cdot \overrightarrow{OA})^2 + |\overrightarrow{OP} - (\overrightarrow{OP} \cdot \overrightarrow{OA}) \overrightarrow{OA}|^2 \leq 1$$

を満たす点 P 全体のなす図形の面積を求めよ。

- (2) xyz 空間において, $O(0, 0, 0)$, $A\left(\frac{1}{\sqrt{3}}, \frac{1}{\sqrt{3}}, \frac{1}{\sqrt{3}}\right)$ とする。このとき,

$$(\overrightarrow{OP} \cdot \overrightarrow{OA})^2 + |\overrightarrow{OP} - (\overrightarrow{OP} \cdot \overrightarrow{OA}) \overrightarrow{OA}|^2 \leq 1$$

を満たす点 P 全体のなす図形の体積を求めよ。

2

解答解説のページへ

a を正の実数とし、 $f(x) = -a^2x^2 + 4ax$ とする。このとき、以下の問いに答えよ。

- (1) $0 \leq x \leq 3$ における $f(x)$ の最大値を求めよ。
- (2) 2 点 $A(2, 3)$, $B(3, 3)$ を端点とする線分を l とする。曲線 $y = f(x)$ と線分 l (端点を含む) が共有点をもつような a の値の範囲を求め、数直線上に図示せよ。

3

解答解説のページへ

以下の問いに答えよ。

- (1) A, B の 2 人がそれぞれ、「石」、「はさみ」、「紙」の 3 種類の「手」から無作為に 1 つを選んで、双方の「手」によって勝敗を決める。「石」は「はさみ」に勝ち「紙」に負け、「はさみ」は「紙」に勝ち「石」に負け、「紙」は「石」に勝ち「はさみ」に負け、同じ「手」どうしは引き分けとする。A が B に勝つ確率と引き分ける確率を求めよ。
- (2) 上の 3 種類の「手」の勝敗規則を保ちつつ、これらに加えて、4 種類目の「手」として「水」を加える。「水」は「石」と「はさみ」には勝つが「紙」には負け、同じ「手」どうしは引き分けとする。A, B がともに 4 種類の「手」から無作為に 1 つを選ぶとすると、A が勝つ確率と引き分けの確率を求めよ。
- (3) 上の 4 種類の「手」の勝敗規則を保ちつつ、これらに加え、さらに第 5 の「手」として「土」を加える。B が 5 種類の「手」から無作為に 1 つを選ぶとき、A の勝つ確率が A の選ぶ「手」によらないようにするためには、「土」と「石」「はさみ」「紙」「水」との勝敗規則をそれぞれどのように定めればよいか。ただし、同じ「手」どうしの場合、しかもその場合のみ引き分けとする。

1

問題のページへ

$$(1) \text{ 条件より, } (\overline{OP} \cdot \overline{OA})^2 + |\overline{OP} - (\overline{OP} \cdot \overline{OA})\overline{OA}|^2 \leq 1$$

$$(\overline{OP} \cdot \overline{OA})^2 + |\overline{OP}|^2 - 2(\overline{OP} \cdot \overline{OA})^2 + (\overline{OP} \cdot \overline{OA})^2 |\overline{OA}|^2 \leq 1 \dots\dots\dots (*)$$

$$\text{ここで, } |\overline{OA}|^2 = \frac{1}{2} + \frac{1}{2} = 1 \text{ から, } (*) \text{ より, } |\overline{OP}|^2 \leq 1$$

よって, 点 P は点 O を中心とする半径 1 の円の内部または周上にあり, 点 P 全体のなす図形の面積 S は,

$$S = \pi \cdot 1^2 = \pi$$

$$(2) (1) \text{ と同様にすると } (*) \text{ が成り立ち, } |\overline{OA}|^2 = \frac{1}{3} + \frac{1}{3} + \frac{1}{3} = 1 \text{ から, } |\overline{OP}|^2 \leq 1$$

よって, 点 P は点 O を中心とする半径 1 の球の内部または周上にあり, 点 P 全体のなす図形の面積 V は,

$$V = \frac{4}{3}\pi \cdot 1^3 = \frac{4}{3}\pi$$

[解説]

まず, 正射影ベクトルを横目に見ながら, (1)を成分計算して結論を導き, (2)へと進みました。しかし, この後, 待ち構える計算量に押されてしまい, 方向転換をして, 上の解となったわけです。

2

問題のページへ

(1) $0 \leq x \leq 3$ において, $f(x) = -a^2x^2 + 4ax = -a^2\left(x - \frac{2}{a}\right)^2 + 4 \cdots \cdots (*)$ より,

(i) $0 < \frac{2}{a} \leq 3$ ($a \geq \frac{2}{3}$) のとき

$f(x)$ は $x = \frac{2}{a}$ のとき, 最大値 4 をとる。

(ii) $\frac{2}{a} > 3$ ($0 < a < \frac{2}{3}$) のとき

$f(x)$ は $x = 3$ のとき, 最大値 $-9a^2 + 12a$ をとる。

(2) 曲線 $y = f(x)$ と直線 $y = 3$ との共有点は, (*)より,

$$-a^2\left(x - \frac{2}{a}\right)^2 + 4 = 3, \quad \left(x - \frac{2}{a}\right)^2 = \frac{1}{a^2}$$

よって, $x = \frac{2}{a} \pm \frac{1}{a}$ から, $x = \frac{1}{a}, \frac{3}{a}$ となる。

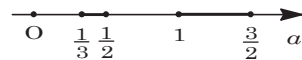
この共有点が線分 $l: y = 3$ ($2 \leq x \leq 3$) 上にある条件は,

(i) $2 \leq \frac{1}{a} \leq 3$ のとき $\frac{1}{3} \leq a \leq \frac{1}{2}$

(ii) $2 \leq \frac{3}{a} \leq 3$ のとき $1 \leq a \leq \frac{3}{2}$

(i)(ii)より, $\frac{1}{3} \leq a \leq \frac{1}{2}, 1 \leq a \leq \frac{3}{2}$

数直線上に図示すると, 右図の太線部となる。



[解説]

(2)では, 予測に反して, 解が簡単な式となります。なお, 最後の数直線上での図示は何を意味するのでしょうか。

3

問題のページへ

(1) 引き分けになるのは、A と B が同じ「手」を選んだときより、その確率は $\frac{3}{3^2} = \frac{1}{3}$,

また A が B に勝つことと、B が A に勝つことは対等なので、A が B に勝つ確率は、

$$\frac{1}{2} \times \left(1 - \frac{1}{3}\right) = \frac{1}{3}$$

(2) 引き分けになるのは、A と B が同じ「手」を選んだときより、その確率は $\frac{4}{4^2} = \frac{1}{4}$,

また A が B に勝つことと、B が A に勝つことは対等なので、A が B に勝つ確率は、

$$\frac{1}{2} \times \left(1 - \frac{1}{4}\right) = \frac{3}{8}$$

(3) まず、「はさみ」を「は」と記し、引き分けを△、A が B に勝つことを○、A が B に負けることを×として表す。

すると、「石」「はさみ」「紙」「水」の勝敗規則を、A の勝敗として示すと、右表の影をつけていない部分のようになる。

さて、「土」と「土」は引き分けになるので、A の勝つ確率が A の選ぶ「手」によらないようにするためには、つねに 2 勝 2 敗 1 分け、すなわち右表の薄く影をつけた「土」の行および列のように勝敗規則を定めるとよい。

言い換えると、「土」は「紙」と「水」には勝つが「石」と「はさみ」には負ける、となる。

A \ B	石	は	紙	水	土
石	△	×	○	○	×
は	○	△	×	○	×
紙	×	○	△	×	○
水	×	×	○	△	○
土	○	○	×	×	△

[解説]

読解力がポイントのパズルのような問題です。